



ホームページ [http://www.hokkyodai.ac.jp/edu\\_center\\_remoteplace/](http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/)  
メールアドレス [kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp](mailto:kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp)  
☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292



## 令和 2 年度へき地・小規模校教育研究センター 研究費助成を公募します!!

多くの皆様の「へき地・小規模校教育研究計画」を期待します。

へき地・小規模校教育研究センター

へき地・小規模校教育研究センターでは、へき地教育研究・教育活動を発展させ、全体的な成果を蓄積していくために、グループおよび個人で進める研究・教育活動の研究費助成の公募を行います。

本年度は、計画書提出締め切りを7月31日(金)とし、助成に伴う次年度の『へき地教育研究』への投稿締め切りを令和3年6月末日といたします。提出先は、へき研事務室です。

へき地・小規模校教育研究は、その領域が極めて幅広く、教科教育・総合的な学習・学級経営・生徒指導・学校運営・地域連携・へき地教育政策・教師教育など多岐にわたっています。このように、あらゆる観点からへき地・小規模校教育研究が取り組まれております。また理論も実践も往還しながら、学校現場の新たな実践や課題と結びついた研究が蓄積されております。今後ともへき地・小規模校教育研究の裾野を広げたいと思いますので、それぞれの専門分野において、へき地・小規模校教育に関係する研究を進めたいと思われる方は、ぜひ積極的な申請をお願いいたします。

研究費助成を受けた方は、次年度の紀要『へき地教育研究』への投稿が義務となります。『へき地教育研究』はすでに74号を刊行し、多様な研究成果が蓄積され、国内外から注目されており、近年は、日本教育大学協会加盟大学の教員や海外の大学からも投稿申込みが増えてきております。ぜひ多くの皆様に積極的にエントリーしていただきたいと思っております。

令和2年度は、以下のような方法で募集いたします。

### (1) 研究計画の申請

\* 本研究助成申請に主たる申請者として応募できるのは、北海道教育大学の教員となります。ただし、北海道教育大学教員が主たる応募者であり、他大学教員や学校教員が共同研究者に入って共同研究を進める場合は問題ありません。その場合の予算執行者は、北海道教育大学教員となります。

\* 研究課題は、へき地教育を前提にして3つの領域に属するものとします。

\* 研究計画書には、研究目的・内容を具体的に記入してください。

また、「へき地・小規模校教育の発展に資する本研究の意義」を明記してください。

\*経費の項目は、「備品・消耗品・旅費・その他」です。

\*申請額の上限は10万円、採択件数が多い場合には1件あたり減額される場合があります。

\*研究計画書（1部）は、**7月31日（金）正午までに、へき研事務室へ提出もしくはメールに添付し送信**してください。

## (2) 研究計画の採否

\*8月中を目処に決定します。

## (3) 研究成果について

\*研究成果は、次年度の紀要『へき地教育研究』第76号に投稿することになります。原稿の締め切りは、令和3年6月末日です。

\*なお、可能な限り当センターが主催する“へき地・小規模校教育推進フォーラム”にご参加いただきたいと思っております。また成果普及を目的として“へき地・小規模校教育推進フォーラム”で、話題提供していただくことがあります。

## (4) 研究計画の申請にあたって

研究計画の申請にあたり、投稿原稿は、へき地・小規模校教育に係る研究論文（学術論文としての体裁を有するもの）、研究ノート（実践報告を含む）、その他研究活動に関するものとし、研究論文、研究ノートは、次の3つの領域に属するものとし、①②③の各領域の関連については例示を参考にしてください。

- ①へき地・小規模校教育に関する基礎的・理論的研究
- ②へき地・小規模校教育に関する実践研究（実践報告を含む）
- ③へき地・小規模校教育にかかわる地域教育研究

### 《 テーマの例示 》

- ◆学習指導・複式指導・少人数学級経営・生徒指導に関する領域
  - ・へき地校の社会性を伸ばす学級経営
  - ・へき地校の少人数指導・特別支援教育
  - ・へき地校の複式学習指導
  - ・へき地校のICTを活かした教育活動
  - ・へき地校の生徒指導
  - ・へき地校の教科教育内容
  - ・へき地校の社会に開かれた教育課程
- ◆学校運営・地域連携に関する領域
  - ・へき地校の学校運営
  - ・へき地校の体力向上を目指した活動
  - ・へき地校の学校・地域連携における教育活動

- ◆特別活動・総合的な学習活動に関する領域
  - ・へき地校の特色ある教育活動
  - ・へき地校の総合的な学習活動
  - ・へき地校の教科横断的・総合的な学習活動
  - ・へき地校のカリキュラムマネジメント
- ◆学生の成長と教師教育
  - ・へき地校体験実習等を経験した学生のへき地に関する意識変化
  - ・へき地校体験実習等を経験した学生の教職意欲の変化
- ◆その他（へき地教育関連分野で編集委員会が認めたもの）

研究計画書の請求は、へき研センター(内線54-291)までお問い合わせください。

または、へき地・小規模校教育研究センターHPの「研究活動」からダウンロードできます。

■研究計画書はこちらから↓

[https://www.hokkyodai.ac.jp/edu\\_center\\_remoteplace/research/apply.html](https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/research/apply.html)

「研究計画書」はこちらから



## 令和2年度日本教育大学協会研究集会(WEB開催)の「へき地・小規模校教育分科会」の発表も積極的にお願いします。

今年の日本教育大学協会研究集会(愛媛大学)は、WEB開催となっております。「研究発表概要」をWEBで掲載し、質問意見がある場合はEメールで受け付ける方法のようです。

へき地・小規模校教育分科会は、昨年に引き続いて、開設されております。発表申込みの愛媛大学への提出は、7月31日(金)までに送ることになっております。

へき研紀要『へき地教育研究』に投稿予定・掲載予定の研究等がありましたら、日本教育大学協会研究集会でも発表されると、個々に研究成果の普及が期待できます。積極的なご発表をよろしくお願いいたします。

■公募要項等はこちらから↓

[http://www.ed.ehime-u.ac.jp/~edhp/news/detail.php?news\\_id=20200701015537](http://www.ed.ehime-u.ac.jp/~edhp/news/detail.php?news_id=20200701015537)

愛媛大学HP

<http://www.ed.ehime-u.ac.jp/~edhp/>



「公募要項等」はこちらから

## へき地・小規模校教育研究センター紹介リーフレットを学生等に配付していただければ幸いです。

へき地・小規模校教育研究センター紹介リーフレットを作成いたしました。このリーフレットを、学生等へ配付していただければ幸いです。また、多くの機会に紹介用に活用して頂ければ幸いです。リーフレットは、へき研センター事務局にご連絡いただければ部数をご用意いたします。よろしくお願いいたします。

■リーフレットダウンロード先

[https://www.hokkyodai.ac.jp/images/info\\_topics/00010600/00010676//20200527154521.pdf](https://www.hokkyodai.ac.jp/images/info_topics/00010600/00010676//20200527154521.pdf)

「リーフレット」はこちらから⇒



へき地・小規模校教育が先取りする次世代型人材育成の基本的方向性

HUE RISE

全国的な少子化・小規模校化時代の学校の展望

備を見つめ、集団との関係性を高め未来に向かう力を伸ばす。

センターの役割

1 学生の学びと授業改善

2 全国大学の学びと授業改善

3 学校教育研究-学校現場

4 へき地教育研究フォーラムへの参画と協力

5 SDGsに向けた、国際貢献活動への参画

6 研修資料の編集、配布への参画

## 6月1日 へき地・小規模校教育研究センター リニューアルいたしました！

釧路校にある本センター施設が、6月1日にリニューアルオープンいたしました。

現在は、新型コロナウイルスの影響のため、学生のみでの利用ですが、資料閲覧等のため徐々に学生たちが利用し始めております。



学生ホールの掲示板上には、へき地校体験実習の実習報告などが掲示されております。また、へき地・小規模校教育に関する情報が確認できます。

施設内には、2000冊以上のへき地・小規模校教育に関する資料を取り揃えております。学生や教職員の方々もぜひご利用ください。

